



国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
一般財団法人アジア太平洋観光交流センター

国連世界観光機関 (UNWTO)

世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2014 年 8 月号

本報道発表の原文 (英語) は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文 (英語) は、UNWTO 本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録 (無償) 及び全文 (有償) をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No. : PR14058

マドリッド

2014 年 9 月 15 日

国際観光客到着数、上期に 5%増加

最新の UNWTO 世界観光指標(World Tourism Barometer)によると国際観光客到着数は、2014 年上期に 4.6%の成長を示した。世界のデスティネーションにおける国際観光客到着数は、2014 年 1 月～6 月期に 2013 年同期比で 2,200 万人増加し、5 億 1,700 万人となった。

最も力強い伸びを見せたのは米州 (6%増) で、これにアジア・太平洋及びヨーロッパ (共に 5%増) が続いた。準地域別では、南アジア及び北ヨーロッパ (共に 8%増) が北東アジア及び南・地中海ヨーロッパ (共に 7%増) と共に著しく成長した。

「これらの結果は、観光は世界における開発及び経済の機会を提供し、近年における前向きな傾向が確かなものであると示した。」と UNWTO タレブ・リファイ事務局長は述べ、「地政学的、経済的な困難があるにも関わらず、国際観光客到着数が 2010 年から平均 5%増加したこの傾向は、より大きな経済成長、より多くの輸出及び雇用につながる。」と続けた。

現段階では、これらの結果は 2014 年初めに発表された UNWTO 予測に沿ったものである。2014 年の年期の国際観光客到着数は、世界全体で 4%～4.5%増加することが期待されており、2010 年～2020 年にかけて年 3.8%増加するとした UNWTO 長期予測を上回るものである。

成長を牽引した米州

米州（6%増）が大きな成長を見せた。メキシコに後押しされた北アメリカ、中央・南アメリカでは6%増加し、カリブ海が5%増とこの4つの全ての準地域で増加が見られた。南アメリカ（6%増）は、ブラジルで開催されたFIFA World Cupがこの準地域におけるプラスの結果に貢献し、国際観光からのブラジルへの観光収入は年初から7か月間で10%増加し、6月及び7月では60%の増加となった。

アジア・太平洋（5%増）は2桁成長を示した日本、韓国及びマレーシア等の主要なデスティネーションに牽引され、南アジア（8%増）、北東アジア（7%増）により近年の増加傾向を確かなものにした。

世界で最も人々が訪れている地域であるヨーロッパ（5%増）は本年、北ヨーロッパ（8%増）及び南・地中海ヨーロッパ（7%増）に押し上げられ、2013年の力強い成長が継続した。これらの結果は、ヨーロッパにおける消費者マインドの向上及び従来の重要なヨーロッパの総客市場の回復を反映している。

北アフリカ（4%増加）が堅調に回復を見せ、アフリカの国際観光客到着数は3%増加となった。しかし、現在のエボラ出血熱（EVD）の発生に関するウイルスの伝染の誤解が同地域の観光に影響を与える可能性がある。「目下のフォーカスはウイルス伝染阻止のため、行動を起こし、またその行動を支持することである。アフリカにおける旅行及び観光部門は、同地域の各国において中心的な活動であり、我々はその誤解がアフリカ経済に不必要な損害を与えないように守らなければならない。我々は世界保健機関（WHO）に対し海外への渡航禁止を勧告しないよう強く主張したい。フライトの欠航や不必要な旅行規制は、ウイルスの拡散対策にはならない。一方、これらの手段は特に同地域における旅行及び観光部門にとって確実に経済の足かせとなり、多くの人々の暮らしを危険にさらす。」と述べた。

中東における国際観光客到着数は、4%の減少と推測されるが、同地域における入手可能なデータが限られているため、これらの数字の取扱いには注意が必要である。

送客市場：先進国・地域が着実に回復

2014年上期の送客市場は、2013年における先進国・地域における国外での支出において着実に回復が戻っていることを示している。イタリア及びオーストラリア市場における支出はそれぞれ7%、8%伸び、米国の市場は5%成長となった。フランス及びカナダは3%増加を見せている。

2013 年に比べて減速がみられるものの、新興国・地域の市場により生み出された需要は、力強さを維持した。2014 上期の中国のアウトバンド支出は、2013 年の通期の 26%に比較し、16%増加し、ロシア連邦は前年の 25%と比較し 4%増加した。

○**UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)**とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて**

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：藤永、藤井、吉田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-aptec.org